

東日本大震災 山口民医連・健文会合同支援ニュース

NO. 7 2011/04/06、20:45 発行

山口民医連・健文会合同対策本部 発行責任者・菖蒲順一郎(対策本部事務局長)

電話 0836-35-9355 Fax 0836-35-9356 Email: kyoritsu@ymg.urban.ne.jp

[URL:<http://www.ymg.urban.ne.jp/home/kyoritsu/>](http://www.ymg.urban.ne.jp/home/kyoritsu/)

第3陣・第4陣(津久井さん・松本さん・森田さん) 出発しました！

昨日出発の津久井薬剤師～本日（4/6）夕方、坂総合病院に到着！

山口からの支援、第3陣は津久井直子薬剤師（宇部協立病院）、昨日（4/5ANA最終便）で山口宇部空港を出発、先ほど坂総合病院に到着のメールが届きました。

紹介します。津久井さんは10日帰宇の予定です。



◆3時に坂総合病院に無事に到着しました。市内はまだ津波の影響が残っていて、ガスも四割ほどしか復旧していないそうです。



◆1日目はミーティングのみで終了。時間があったので神奈川県連の方に便乗して七ヶ浜まで行つきました。町がひとつくなっている現実…。支援については、どこに配属されるかは夜にならないとわからないようです。今は救急も落ち着いて來たので避難所、地域訪問に力を入れていくこと。ベッドのある部屋？もあるのでなかなか快適です。食べ物は朝、昼、晩出ますが、支援者が多いときは早い者勝ちです。



第4陣（松本2階病棟長、森田事務次長）は、本日（4/6夕）山口宇部空港を出発しました。4/2の全日本民医連理事会での全国支援方針に基づく追加支援です。4月中の支援方針として、山口民医連は看護師1名、事務他1名の継続した支援が要請されています。

その他にも、精神科支援として永岡医師（4/18-23で検討中）。研修医3名のみなさんも支援派遣が検討されています。

また、薬剤師会からの支援要請にもとづき、奥村上宇部あおば薬局長が4/7-12、宮城県に支援に入ります。出発は、4/7（木）16:30 山口宇部空港発です。

| 支援先 | 地協・県連 | 医師 | 看護師 | 事務・SW・他 | 介護職 | 薬剤師 | 放射線 | 助産師 | 歯科 |
|-------|--------------|----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|----|
| 岩手 | 北海道・青森・秋田・岩手 | 3 | 4 | 2 | 2 | | | | |
| 松島 | 北関東・甲信越・山形 | | | 18(3人×6県連) | | | | | |
| | 歯科部 | | | | | | | | 4 |
| 坂・長町 | 北関東・甲信越 | 1 | | | | | | | |
| | 関東 | 2 | 2 | 5 | 2 | | | | |
| | 東海・北陸 | 1 | 7 | 5 | 2 | | | | |
| | 近畿 | 1 | 7 | 5 | 2 | | | | |
| | 中国・四国 | 1 | 7 | 5 | 2 | | | | |
| | 九州・沖縄 | 1 | 7 | 5 | 2 | | | | |
| 宮城野の里 | | | | 6以上 | | | | | |
| 小名浜 | 関東 | | 5 | | | 1 | | | |

四月三日決定した四月の支援体制
全日本民医連理事会が

松永院長・松野 3 階病棟師長が帰還

3/31（木）から宮城県坂総合病院に大震災支援に行った、宇部協立病院の松永院長、松野 3 階病棟師長が、4/4（月）山口宇部空港着の最終便で帰還されました。松永院長は早速、4/5 新入職員オリエンテーションでも支援報告されました。



全日本民医連から 動画が配信されています

震災支援の取り組みについての「藤末会長インタビュー」、「東日本大震災・被災地支援の活動2 福島県南相馬市」などがあります。「全日本民医連ホームページ」で視聴できます。

「東日本大震災・被災地支援の活動2 福島県南相馬市」は、県連事務局にもDVDがあります。原発被災地へ全日本民医連が入った模様が紹介されています。職場でも活用してください。

義援金

現在までに、職場回覧 731,666 円、給与天引き 742,699 円+約 40 万円（4/4 現在）、窓口等～204,318 円（3/31 現在）が集まっています。「ふじやま」1周年でもパネルを作って訴えました。

引き続き、各事業所窓口等で患者さんや利用者さん、組合員さんに訴えてください。

街頭募金の取り組みも、フジグラン宇部での街頭募金を行うよう手配するよう対策本部で確認しました（毎週1回昼間の1時間程度）。具体化のあと、お知らせします。

物的支援

対策本部として、支援物資受付のための支援物資のリストを作って「ひろば」に折り込むなど、知らせます。保管場所は、病院内・元透視室を確保していますが、支援物資受付中とわかるよう組合員コーナーに受付と資材置き場を確保します。後日、詳細を文書で連絡します。